

同人はじめて結構長いですが、今までイベントというものが中止になるとしたらお上の景がとが版權元のAレとがになるもんだと思ってました。まさか天災でイベントの開催がなくなることがあるなんてなあ。ヒックサイトはラタクのはしくれとして、特別なハコです。本当に無事にSCCが開催できたことを喜んでいます。夏コミもそして6月のオンリーも無事に開催されますように。

ウチの本は比較的長めのものが多くて、ちょっと試しに…という方には奥にバウチなノリで申しわけないなあとおもうていましたので今回はさくつとあっさりな感じ。さくつとあっさりて「コニ」で「クラブハウス」で「水濡れえち」ってなんだよおい！ と言いたい方。わかります。私もそう思う。芸術が完全に崩壊しますが、大丈夫でしょう。次はありがたいことにスペース1だけETUオンリーです。ホントは川崎戦ネタにしようかと思ってたんですが、ちょっと今違う話を書きたくなっておりまして。多分そつち先に出すかなあ。フチに川崎戦が。まあおいおい。今日もよいイベントになりますように！ 楽しいイベントになることを祈って、堺さんが機嫌のいいSSを書いてみました。今日はスペースにお越しくださいませ、ありがとうございます！



堺さんは、いつも仏頂面で基本怒っているように見える。

「……やっべ。さつき、俺、堺さんに睨まれた」

キヨさんがウォームアップのランニングをしながら、そう言った。

俺はキヨさんがいつ堺さんの地雷を踏んだんだろうが、と思いついて、それから少し前を行く堺さんを見た。ちらりと見える横顔には、特別の変化は見られない。

俺は少し考えて「そんなことないっすよ」とキヨさんにフォローを入れる。

「別に堺さん、今、誰かに怒ってたりとかしてないっす。キヨさんの勘違い。第一、何にも悪いこととかしてないっすよねえ？」

「ホントか？ けどさつきお前としゃべってた時さ、ちらってこっち見て、その目が氷みたい冷たかったと思うけどな。いや、違うんらしいんだ。そつちのがいいんだ」

キヨさんは俺の意見を採用したいらしい。そりゃそうだ。チームのベテランを怒らせるなんてことはできる限りいない方がいいに決まってる。

俺は氷のように冷たいまなざしで堺さんに見られることは慣れたことになった挙げ句、今では冷たい視線の温度を測れる。ものすごくわかりづらいけど、冷たい視線といっても堺

さんの場合、種類が豊富だ。目つきが悪いから全く問題のない種類のものとは本当にやばい時の境目が、素人には判断しづらい。俺だつて時々間違つてひどいことになる。

「さつきこっち見たのはたぶん……！」

前を行く堺さんが、一瞬だけこちらに視線を送ってくる。不意打ちにびっくりして身をすくませると、キヨさんが「ほらまただよ」と暗い声で言った。

「お前今の見ただろ？ 俺、なんかやっつたかな。とりあえず謝り入れに行かかな。身に覚えはないけど」

堺さんは周囲からの信頼が絶大で、その堺さんがティスするというのならそれには何か理由があつて、なおかつ正しい。だから、悪いのはキヨさん。

ということに、キヨさんの懸念が本当ならばなるところだ。

けど、

「んー、今のはちょっと違うっすね」「なにが？ なにが違うんだよ、世良」

俺はなんだかにやけてくる顔を引き締めながら「違う、違う」と重ねて言った。

「堺さん、別に怒ってないっすよ。けど、ランニング中にしゃべってばつがたとその内ティスされるっす」

そう言つて、主にキヨさんのために黙ってランニングを続ける。

また、ちらりと視線がきた。それで俺はやっぱりにやにやしそつちになる顔を引き締める。

堺さんは一見すると仏頂面でいつも怒ってるよ

うに思われがちだ。基本がむつとしていいるから、ビビってると自分に対して悪意を持っているように思える。本当はそんなことなくても、特に後輩からは誤解されやすいのかもしれない。口数少ないって、損だ。

俺も昔は堺さんはいつも機嫌が悪いんだつて思ってた。

けど、

なんとというが、堺さんはわかりにくいよういて実は結構、すこく、わかりやすい。

イヤなものはいやだし、割と我慢と抑えが効かない。気になるものがある時は態度があからさまだ。

それでいて、子どもっぽいというのはまた違うのだからやっぱり不思議で……そしてすこく魅力的なんだ。

「……さつき、走りながら何笑つてたんだよ。練習中だぞ？」

ランニング終わり、すつと堺さんが隣に来て低い声でそう呟いた。

俺は目をあげると、微笑する。

俺と一緒に走っていたキヨさんとはすつとに逃げてしまつて、こっちの様子を遠くから伺っている。

だから、ビビりすぎ。けど、そのおかげで二人で離せるんだから、俺的には全然OKなんだけど。

俺は、俺の大事な人を見つめると、ホントはすつと眺めてたいけど、この人はそういうこともあんまりさせてくれない。

多分、すこく照れるからなんだらう。まあ、これは俺の希望。けど、あながち外してはないと思う。

だつて、堺さんは俺を拒まない。俺のことを結構気にして見てくれる。

今だつて。さつきだつて。割と、いつだつて。割とその辺をうめほれてもいいくらいにはもうこの人と俺の間には、絆とができてるって思う。信じてる。

「別に、キヨさんとはどうでもいい話しかしてないっすよ？」

俺は静かに、だけどはつきりそう言った。

途端に堺さんの頬に朱がさす。

俺は心の中で、ピンコ！ と叫んだ。ああ、すつけ嬉しい。マジ、嬉しい。俺、今最

強じゃねえの？ つて思えるくらい嬉しい。それでも堺さんはそう簡単にはこっち側に来てくれない。

「別に……そんなこと訊いてねえよ。てが、なんだいきなり。意味わかんねえ」

「いえ……なんとなく、そう言いたくなつたんす」「お前、ほんつと意味わかんねえな！」

それはそれは怒ってる。ように、見えるけどこれは多分違う。

去年の晩ならこういふ堺さんにフチ当たつたら、気に病んで夜も眠れなくなつたかもしれないけど、今は違う。

ホント、すけえ、かわいい……

言いたいけど、それを言つたら多分今晩堺さんの部屋に入れてもらえなくなるから、俺はぐつと言葉を飲みこんだ。

「わかんなくてもいいんすよ。俺がなんか今すつけ一そう言いたくなつただけなんだ」

こういふ堺さんには強く主張しすぎずに、逃げ場所を作ってやるのがいいって、俺は散々痛い思いをしてきて学んだ。

ぞりゃあ俺だつてたまには学ぶ。俺の人生に於つて、サッカーと同じくらい重要なことだから、死に物狂いで覚える。

と、堺さんは苦笑して「変なヤツ」とあつちに行つてしまふ。

俺はその背中を見てる。

表情なんか見なくてわかる。

今、堺さんはご機嫌だ

◆◇PLANET ZERO EVENT INFORMATION◆◇ セラサク小説、大体大人向け。

イベント参加予定

6/12 ETUファン感謝ティ！

6/26 コミックシティ・堺受フチオンリー NO SACK! NO LIFE!

8/12 夏コミ(申し込み済)8禁] Last Resort (A5/76P/セラサク)

【既刊】

【18禁】好きになんかなりたくなつた人

(A5/92P/セラサク)

【新刊】

【18禁】pinkish!(A5/44P/セラサク)